

# 北九州市民の会ニュース

## 下北道路シンポジウムに80名参加

11月16日(土)14時から小倉北区ムーブ大セミナー室で、北九州市民の会主催で「第12回市民講座 下北道路シンポジウム」が開かれました。三輪市民の会事務局長がコーディネーター、パネラーは、田村貴昭衆議院議員、石田康高市会議員、高瀬菜穂子福岡県会議員、片山房一下関市会議員、吉田達彦日本共産党山口県委員会政策責任者の5人。

参加者から、質問や要望などが活発に出され下北道路の問題点が明らかとなり、税金の無駄使いともなる「そんたく道路」「安倍麻生道路」の建設をさせてはいけないと改めて思い知らされました。



## 八幡市民会館の活用を求める連絡会 (第45回)

11月19日(火)、経過報告として、教育文化委員会での口頭陳述(10月23日)と今後の対応を検討。有意義な「市民の集い」(11月4日)の成功についてひとり一人が感想をのべあった。今後の対応として、市長宛署名への取り組み、公開質問状の回答については、問題点を広く市民に知らせ運動を広めていく必要を確認した。「公共施設マネジメント施行規則・制定を求める」取り組みについても検討した。

今回は、  
12月17日(火)  
10:00 大谷市民センター



## 散らぬなら散らせてみせよう安倍桜 平和ネットが19日定例行動

11月19日18時、厳しい寒さの中、平和をあきらめないネット毎月行動に29人が参加しました。宣伝行動は、「桜を見る会」に安倍後援会から大量招待されていることが明らかとなり、安倍首相の公的行事の私物化として大きな問題となっているなか、大きな垂れ幕「散らぬなら散らせてみせよう安倍桜」が出

現。あきらめないネットの前田憲徳代表代行、北九州地区労連永富議長、池上弁護士、若者を代表して三浦さんなどがマイクを握り元気いっぱい訴えました。



## 公契約条例制定をめざす学習会

11月21日18時30分から戸畑生涯学習センター3階会議室で、「公契約条例制定をめざす学習会」が「北九州市に公契約条例を制定する会準備会」主催で開かれ、22団体46人が参加しました。この会の成功をめざし、加盟組合やこれまで協力共同の関係団体に訪問し参加を訴えました。学習会は、司会進行をかねて準備会事務局の永吉地区労連事務局長が学習開催までの取り組み、共同の呼びかけ、北九州市などへの陳情行動、先行実施の直方市への調査を行なったことなど経過報告。主催者挨拶は、準備会永富会長がこの間の取り組みなどについてふれる挨拶を行ないました。公契約条例実施状況など全国の状況について福建労北九州支部新屋敷書記長が報告、北九州市の状況については日本共産党北九州市議団石田団長が、9月議会(決算特別委員会)での市長質疑にふれた。石田議員「市内現場の実態調査を行ない、いくら賃金が上がっているか調査確認せよ」、市長「労使で決める賃金に市は介入すべきでない」、石田議員「介入ではなく、実態の把握だ。賃金がいくら上がったのか、根拠は何もない。世田谷では調査も要請もしている」等のやりとりを報告。又北九州市とほとんど変わらない世田谷区での2015年4月にスタートした公契約条例について、「出発点、3つの特徴、公契約の範囲、労働報酬下限額が決められている」ことなどわかりやすく説明がありました。学童保育クラブからは、契約の実態などについて報告がありました。参加者からの感想は、

平和とくらしを守る北九州市民の会  
〒803-0817 小倉北区田町13-21 田町ビル3F  
TEL093-592-5000 FAX093-571-4346  
<http://siminnokai.sakura.ne.jp>  
e-mail: koe@siminnokai.com

「まず第一歩として、このようなお話が聞けて良かったです。知ろうとすることから始めようと思いました」「学童の指導員の話（現状）を聞いて良かった」「言葉としては知っていても、なかなかしっかりと勉強する機会がなかったので良かったです。ただ、まだわかってないところも結構あるので勉強を続けたいです」「公契約とは」について、わかりやすいチラシなどをつくって、現場に入っていけるような条件をつくってはどうか？」

「世田谷区などの先進的な条例をもっと深く学ぶ必要あり」「市が委託している事業で働いている人たちの状況を把握して、共に運動する必要があると思う」「公契約は大事なことだと思うが、まだまだ周知が出来てないと思います。もっと取り組みが必要だと思います。」

等16人の方から感想が寄せられました。  
(堀田和夫氏FBより)



### 第41回福岡県人権問題研究集会開かれる



11月23日(土)、粕屋町サンレイクかずやに800名が参加、今年も大いに学び、互いの絆を深め、憲法が息づき一人ひとりが輝く地域社会をつつていこうという決意がみなぎる研究集会となりました。記念講演は、山田朗氏(明治大学文学部教授)「歴史から何を学ぶか、改憲問題は歴史認識の問題である」というテーマでわかりやすく戦争の理不尽さを縦横に語られた。午後からの分科会は、映画「否定と肯定」と杉島幸生弁護士が「インターネット上の差別表現と法的規制」について問題提起、参加者で討論をしました。

### 「戦争する国」めざす大軍拡予算ストップ！ 「暮らし、福祉、教育、防災に回せ」の 声をあげよう 8団体が院内集会

11月27日、大軍拡予算を許さず、暮らし、福祉、防災に予算をまわせと8つの団体(※)が呼びかけた院内集会がひらかれ、26団体73人が参加。自治労連も参加しました。

(※ 安保破棄中央、憲法会議、憲法共同センター、国民大運動、消費税廃止各



界連、全国革新懇、中央社保協、日本平和委員会)

### 危機意識を共有し運動の再構築を

主催者を代表して、全労連の小田川義和議長があいさつ。大軍拡路線の「防衛」予算が組まれている一方、社会福祉をはじめくらしに係る予算が削減される現状に「危機意識を共有することが必要」と述べ、「1980年代から軍事費を削り暮らし・福祉に予算をまわせと運動してきたが、いま改めて運動を再構築して行く段階にある」と話し、この集会を機にとりくみを強めていくことを呼びかけました。

### 市民連合 山口二郎さん 「総選挙むけ、くらしを重視した共通政策を野党に提案したい」

来賓として市民連合の山口二郎法政大学名誉教授が連帯あいさつをおこないました。山口さんは、来年中に予想される解散総選挙にむけ、「社会保障や生活支援を重視した共通政策を提案していきたい」と述べ、今後、専門家やさまざまな団体のみなさんと相談をしたいと語りました。集会では、東京新聞の論説委員で編集委員でもある半田滋さんから記念講演や、宮本徹衆議院議員(共産)からの情勢報告があったほか、5団体6名からの報告・決意表明がありました。

(自治労連速報第90号より)

### リニューアルします！ 市民の会ホームページ



10月10日(木)幹事会で提案され、承認された「市民の会」ホームページのリニューアル企画が進展しています。KOH青年グループの斬新な提案を受けながら広く青年層にも浸透するホームページ作りが検討されています。既存のホームページの情報はすべて残しながら、スマホにも対応、斬新なデザイン。「笑顔と希望の会」のTwitter、facebookのアカウントを「市民の会」として引き継ぎ、ホームページのトップ画面で展開します。その他盛り沢山なリニューアル。2020年1月中旬に完成、2月から公開される予定です。

### さよなら原発金曜行動

18:00~19:00

小倉駅デッキ

12月6日、12月13日

12月20日、